

科目名：医療倫理学		必修	2単位(90時間)	
(Medical Ethics)				
履修年次/時期：1年次 前期		授業形態：講義		
主担当教員：林田 丞太				
主担当教員詳細：				
担当教員名：				
学修目的	本講義では、歯科衛生士として臨床現場に立つ際に不可欠な「倫理的思考力」の基礎を養います。法学の視点を交えつつ、単にルールを守るだけでなく、正解のない問いに対して「患者にとっての最善」を自ら考え抜く姿勢を学びます。医療現場で直面する葛藤(ジレンマ)を法と倫理の両面から整理し、多職種連携や患者との信頼関係構築の土台となる、医療人としての高い倫理観と責任感を身につけることを目的とします。			
	関連するCP：CP1	科目No. S1A03H07		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	◎	
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	-	
		(3)社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	-	
	3. 口腔の健康支援を通して全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	-	
		(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	-	
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP			
	到達目標	① 倫理、道徳、法の違いを理解し、医療倫理の基本的考え方を説明できる。 ② 医療倫理の4原則に基づき、具体的な症例の論点を整理できる。 ③ インフォームド・コンセントの本質を理解し、患者の自己決定を支援する意義を述べられる。 ④ 守秘義務や告知など、法的な義務と倫理的配慮の境界線を識別できる。 ⑤ 終末期医療や生殖医療などの生命倫理的課題について、多角的な視点から考察できる。 ⑥ 歯科衛生士としてのプロフェッショナリズムを理解し、自身の職業観を言語化できる。		
授業概要	倫理学とはどのような学問なのか、また人間にとって倫理とはどのような意味を持っているのかという基本的な理解を土台にして、医療における倫理の特殊性を理解する。			
評価方法	学期末試験：60%、各回のリアクションペーパー40%、講義中の発言も+評価としてを総合的に評価します。 試験・レポートに対するフィードバックは、授業時もしくは掲示によって行いません。			
予習・復習時間	【予習】2時間：配布プリントの次回分を読み、自分の考えをまとめてみる。 【復習】2時間：講義内容を復習・ワークを思い出し、考えを固める。			
教科書	オリジナル配布プリント			
参考書	授業の際にそのつど指示します。			
オフィスアワー・連絡先	講義終了後 および アドレス(hayashida@kdu.ac.jp)にメールしてください。			

実施回	第1回	実施日	2026/04/07	時限	2	班	
授業計画	倫理とは何か？医療倫理とは何か？ 倫理の定義、道徳との違い、医療における倫理の位置づけを説明できる。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べる。				
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。				
		キーワード	倫理、道徳、義務、善悪				
授業形態	講義	担当	林田				

実施回	第2回	実施日	2026/04/14	時限	2	班	
授業計画	医療倫理の4原則とは何か？ 自律尊重、善行、無危害、公正の4原則を中心に倫理的判断枠組みを言える。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べる。				
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。				
		キーワード	自律尊重、善行、無危害、公正				
授業形態	講義	担当	林田				

実施回	第3回	実施日	2026/04/21	時限	2	班	
授業計画	インフォームドコンセント 説明と同意の意義、患者の意思決定支援、自己決定権の倫理的背景を概説できる。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べ、自分の問題として想像してみる。				
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。				
		キーワード	説明責任、パターンリズム、自己決定				
授業形態	講義	担当	林田				

実施回	第4回	実施日	2026/04/28	時限	2	班	
授業計画	守秘義務 プライバシーの保護と情報共有のジレンマを説明できる。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べ、自分の問題として想像してみる。				
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。				
		キーワード	守秘義務規定、プライバシー、個人情報、情報の共有				
授業形態	講義	担当	林田				

実施回	第5回	実施日	2026/05/12	時限	2	班	
授業計画	病名の告知：嘘と真実 告知の倫理、真実告知の基準、文化的背景を言える。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べ、自分の問題として想像してみる。				
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。				
		キーワード	知る権利、守秘義務、真実告知				
授業形態	講義	担当	林田				

実施回	第6回	実施日	2026/05/19	時限	2	班	
授業計画	振り返り授業 1回～5回の理解度確認と再ディスカッションする。	予習	1回～5回の不明点を確認しておく。				
		復習	試験準備も兼ねて、1回～5回分の授業内容、キーワードを勉強する。				
		キーワード	復習、理解確認、討議				
授業形態	講義	担当	林田				

実施回	第7回	実施日	2026/05/26	時限	2	班	
授業計画	脳死 脳死の概念と臓器移植の倫理的課題を説明できる。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べ、自分の問題として想像してみる。				
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。				

		キーワード	心臓死、臓器移植、人の死の定義人格
授業形態	講義	担当	林田
実施回	第8回	実施日	2026/06/05
		時限	4
		班	
授業計画	安楽死・尊厳死 生命の質と延命治療の限界をめぐる倫理的議論を行える。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べ、自分の問題として想像してみる。
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。
		キーワード	安楽死、尊厳死、リビングウィル
授業形態	講義	担当	林田
実施回	第9回	実施日	2026/06/12
		時限	4
		班	
授業計画	宗教上の理由による輸血拒否 信仰と医療の対立を事例から分析できる。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べ、自分の問題として想像してみる。
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。
		キーワード	信仰の自由、エホバの証人、輸血拒否、最高裁判決
授業形態	講義	担当	林田
実施回	第10回	実施日	2026/06/19
		時限	4
		班	
授業計画	生殖医療 体外受精、代理出産、遺伝子倫理など生命誕生の倫理問題を説明できる。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べ、自分の問題として想像してみる。
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。
		キーワード	体外受精、出生前診断、生命の選別
授業形態	講義	担当	林田
実施回	第11回	実施日	2026/06/26
		時限	4
		班	
授業計画	振り返り授業 7回～10回の理解度確認と再ディスカッションする。	予習	7回～10回の不明点を確認しておく。
		復習	試験準備も兼ねて、7回～10回分の授業内容、キーワードを勉強する。
		キーワード	生命の尊厳、理解確認、討議
授業形態	講義	担当	林田
実施回	第12回	実施日	2026/06/30
		時限	2
		班	
授業計画	正当な医療行為の要件 刑法との関連を踏まえ、医療行為の正当化要件を説明できる。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べ、自分の問題として想像してみる。
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。
		キーワード	正当業務行為、違法性阻却、法と倫理
授業形態	講義	担当	林田
実施回	第13回	実施日	2026/07/07
		時限	2
		班	
授業計画	医療倫理に関する誓い・宣言・綱領 職業倫理、医学研究、死の概念等に関する宣言を概説できる。	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べる。
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。
		キーワード	ヒポクラテスの誓い、リスボン宣言、患者の権利、倫理綱領
授業形態	講義	担当	林田
実施回	第14回	実施日	2026/07/14
		時限	2
		班	

授業計画	プロフェッショナリズム 専門職としての態度、責任、信頼の構築を認識し、説明できる	予習	キーワードについて、大まかな意味を調べ、自分の問題として想像してみる。
		復習	今回の授業内容を自分の言葉で要約しておく。
		キーワード	専門職、使命、信頼、責任、態度
授業形態	講義	担当	林田

実施回	第15回	実施日	2026/07/21	時限	2	班	
授業計画	総まとめ・試験対策 全体の未理解感を復習し、医療倫理の意義を概説できる。	予習	授業全体の不明点を明らかにしておく				
		復習	試験準備も兼ねて、授業内容、キーワードを総復習する。				
		キーワード	総括、試験、振り返り、統合、今後の課題				
授業形態	講義	担当	林田				